

3A病棟 新人看護職員教育計画

期	I期(4~6月)	II期(7~9月)	III期(10~12月)	IV期(1~3月)
目標	先輩看護師の支援のもと看護技術が習得できる		受け持ち患者の看護実践をする	
	指導を受けながら患者の気持ちを理解し、安全安楽な日常生活援助を実践する	指導を受けながら担当患者の問題を明確にし、それに沿った看護実践ができる	指導を受けながら受け持ち患者の看護計画を立案、実施、評価できる	次年度のケーススタディを考え、先輩看護師とともに、受け持ち患者の看護実践ができる
	<4月>・感染・針刺し事故・手洗いの実施・PPE・分別ごみの実際がマニュアルをみて実施できる。 ・指導の下、看護師記録ができる ・退院支援、看護の連携を知る ・医療安全において知識を得る・静脈血採血ができる・社会人としての倫理を知る・褥瘡について学ぶ ・日常生活援助、回診介助、ドレーンの性状・取り扱い、環境整備、内服管理、包帯は指導の元でできる。検査値。 ・感染対策について理解しマニュアル通りの行動ができる ・基本的なセルフケアの提供 ・病院職員としての接遇が理解でき実践できず	<7月> ・心電図モニターの性状、異常を知る。 ・誤薬防止 ・日勤: OP後以外ひとり立ち ・輸血、輸液が管理できる ・OPがメインでみれる ・CPMが設定できる ・夜勤: 1/3患者。OP後1名、OP前日、OP翌日 看護スタッフとの協働ができる 医療安全体制について理解し、マニュアルどおりの行動ができる	<10月> ・急変時対応が解る ・膀胱留置カテーテルが挿入できる ・遅出自立 ・入浴介助	<1月> ・各病棟新人看護師担当者による逆シャドーイングの研修(目標:優先順位を明確に)
	<5月>・翼状針での静脈注射ができる ・血糖測定、インスリンができる ・看護必要度がわかる ・夜勤の流れを知る ・社会人としての接遇を見につける ・吸引喀痰、食事介助、重症患者の早期離床が指導の下でできる ・外回り業務、入院、退院対応、OP翌日、ICU、荷重制限)ができる 入退院の取り扱い・マニュアル通りの検査介助ができる ・マニュアル通りの薬剤投与ができる医療チームの一員である事が理解できる	<8月> 日勤シャドーイング研修で自己の課題を明確にする ・遅出 ・夜勤: 2/3 OP後2件 OP前 多職種連携が理解できる	<11月> (自己目標を理解し、具体的な行動が取れる)	<2月> ・看護観発表「心にのこった患者さんとの出会い」
<6月> ・留置針挿入ができる ・報・連・相ができる ・輸液ポンプ・シリンジポンプが使用できる ・輸血ができる ・呼吸器系のフィジカルアセスメント ・優先順位を考えて動く。入院)OPオリ含む、先輩と一緒に術後を見る、OP出し。夜勤:外回りができる・早出自立 臨床における倫理が理解できる	<9月> ・半年間の振り返り 部署の進行状況の確認 技術評価を行い課題を明確にする。 ・アラーム対応 ・人工呼吸器の取り扱いを知る ・看護取り看護を知る、高齢者の慢性疾患ケアの学びを深める ・夜勤: 全員 看護の展開が記録できる	<12月> ・受持ち開始(患者視点での看護が考えられる)	<3月> ・目標達成と次年度の課題を明確にする 新人卒業式 ・1年間の振り返り:技術評価を行い、課題を明確にする	

社会人基礎力	社会人としての自覚がもてる	夜勤業務が理解でき、先輩看護師の支援のもと夜勤が実践できる	「心に残った患者さんとの出会い」のレポートをまとめることができる	組織人としての自覚を持ってメンバーシップを図ることができる
	病院、看護部の理念目標、病棟チームの目標、チームを理解する	健康管理ができる	自己の学習課題を明確にし、主体的に学習することができる	次年度に向けての自己目標が立てられ、具体的な行動を考えることができる
	組織における自分の位置づけがわかる	時間管理ができる		自己の成長を振り返り、2年目に向けての意欲を示すことができる
	病院職員としての接遇が理解でき実践できる	自部署で多い疾患、看護技術を自主的に学習することができる		
ニーズをとらえる力	電子カルテ研修を受け、患者情報のとり方が理解できる	入退院の取り扱いについて理解できる	助言のもと患者の状態から緊急度をとらえることができる	患者にとって必要なケアをチームで働きかける方法を考える事ができる
		助言をうけながら患者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる		
	患者にとって必要なケアを考えることができる	助言をうけながらケア実践の記録ができる	助言をうけながら看護計画の立案ができる	助言をうけながら看護展開ができる
ケアする力	病棟で多い看護技術を理解できる	主体的に看護技術の習得に取り組むことができる	看護技術チェックリストを用いて主体的に技術習得に取り組むことができる	1年間で習得すべき看護技術が習得できる
	看護手順の場所が言える	見守りのもと基本的なセルフケアの提供ができる	基本的なセルフケアの提供が1人で実践できる	1年間を振り返り不足している看護技術を強化することができる
		静脈血採血、留置針挿入を習得する	看護手順に沿った検査介助ができる	
		見守りのもと看護手順に沿った検査介助ができる	看護手順に沿った薬剤投与ができる	
		見守りのもと看護手順に沿った薬剤投与ができる		
協働する力	医療安全対策について理解できる	医療安全対策を理解し、マニュアル通りの行動をとれる		
	感染対策について理解できる	感染対策を理解し、マニュアル通りの行動をとれる		
	報告、連絡、相談ができる	SBARを使った報告、連絡、相談ができる	助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる	看護チームの一員として役割を果たす事ができる
	多職種の仕事を知る事ができる	助言をうけながらケアに必要なと判断した情報を関係者から収集できる		
意思決定を支える力		助言をうけながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え希望を知る事ができる	臨床における倫理が理解できる	ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知る事ができる